

令和3年度 全国学力・学習状況調査結果及び分析・対策（松江市立城北小学校）

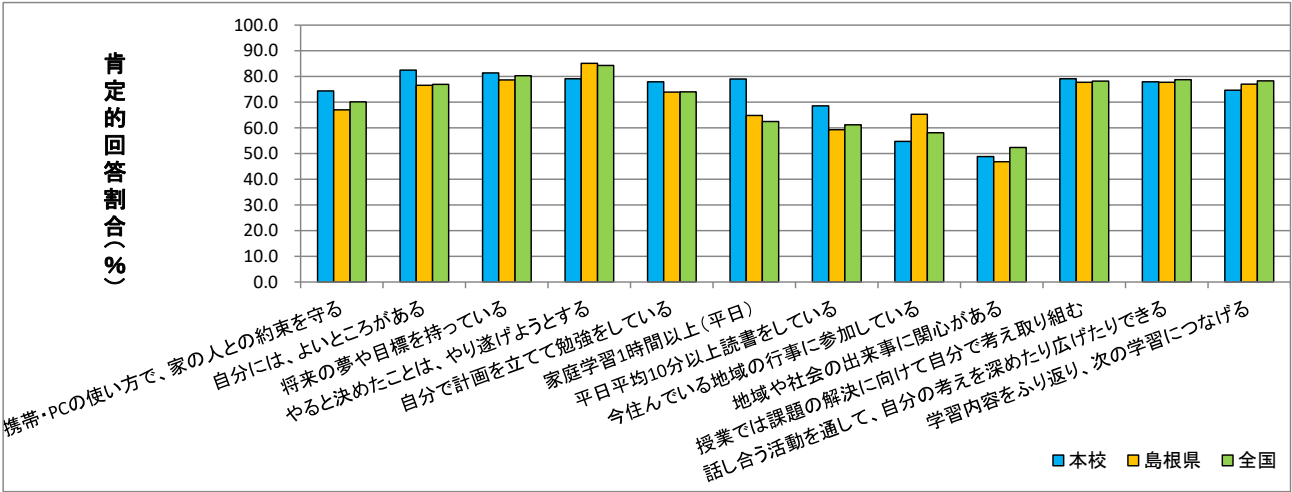
(1) 学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
国語	○無回答率が低い。 ○言語、漢字、資料を使って話す等基礎的な内容が定着している。 ●字数などの条件を踏まえて文章を書く力が弱い。 ●要約することや文章作成の構成や展開を考えることが苦手である。	・継続して、短作文を書く習慣をつける。 ・常日頃から条件に合った文章の書き方を指導する。 ・説明文の構成や用語について、学年に応じて繰り返し指導していく。
算数	○基本的な計算のきまりや公式をよく理解している。 ○無回答率が低い。 ●数字や言葉を使って考え方を説明する力が弱い。 ●限られた時間の中で問題の意味を理解する力が弱い。	・公式を記憶させるだけでなく、その公式ができた過程をフィードバックする学習を取り入れる。

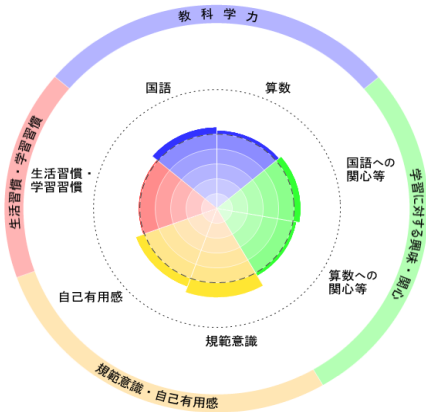
(2) 生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○: 成果, ●: 課題)	対 策
	○家庭学習や読書に熱心に取り組んでいる。 ○基本的な生活習慣が身についている。 ●ゲームの時間が長い。 ●学んだことを学習に活かそうとする意欲が低い。	・学習したことが他の学習や生活につながっていることを意識させる。

(3) 意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



(4) 学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



(5) その他、今後特に力を入れて取り組むこと

- ・読書時間を確保する。
- ・既習事項をくり返し学習する機会を設けたり復習問題を実施する。
- ・日常的に考えを書く、話す、聞く機会を充実する。

【受検者数】 86 名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。